



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人 (局長)
稲留 駿斗
(電気科3年)

工高祭 応援号2 科展示

旭工生の技を披露 各科の特徴を実感して



建築科

ベンチの板にタボを打つリーダーの山田夕煌君 (建3)

細かいパーツを見て

建築科の科展示テーマは「木から作れる実用性のあるもの」。木材を使用し2、3年生はベンチ、1年生はキーホルダーを製作。椅子と棚も作った。3年生6人、2年生9人、1年生12人の計27人で準備作業をしている。リーダーの山田夕煌君 (3年) は「ベンチを製作するときの細かいパーツの作成に苦労したが、この機会に他学年との交流、連携がとれた。学年によって違う作品が作られているのでよく見てほしい」と話した。

反応や現象に興味を

工業化学科の科展示テーマは「子どもたちが楽しみながら、化学の良さを体験すること。ダイラ



工業化学科

タンシー、宙に浮く水道、カルメ焼き、ポップコーン、空気砲の五つを実験する。それぞれ化学反応や物理現象を利用した体験型の展示で子どもから大人まで楽しめる内容となっている。3年生6人、2年生12人の計18人が準備作業を進めている。昨年

電気装置の制御に苦勞

電気科の科展示テーマは「電気を身近で感じよう」。展示内容は電気装置のパンデックラフ、電球を光らせる制御装置、ノーエアホッケー、

ストラックアウト、ワイヤーアート、電車模型のNゲージを予定。3年生5人、2年生12人、1年生4人の計21人が準備作業をしている。



電気科

リーダーの山口凛次 (3年) は「パンデックラフやNゲージの組み立て、制御回路が難しいことに苦労している。皆が協力して動いてくれるので、効率よく進められている。本番ではパンデックラフのパチパチ部分とストラックアウトがどんな回路をしているのかを見てほしい」と話した。

キーホルダーを製作



電子機械科

電子機械科の科展示テーマは「技術で挑む電子機械科」。ベンチ、ゴミ箱の製作と研磨が大変だった。1、2年生との交流の機会が得られ、積極的な協力してくれて良かった。展示物に対する作り込みや工夫したところを見てほしい」と話した。

キーホルダーを研磨する電子機械科の1、2年生

コンクリートで宇宙飛行士



土木科

コンクリートの宇宙飛行士を持つ土木科3年生

土木科の科展示テーマは「土木の物を知ってもらう」。測量の機械や宇宙飛行士の模型をコンクリートにしたものなどを展示する。3年生10人、2年生12人、1年生6人の計28人が準備作業をしている。リーダーの織本颯太君 (3年) は「宇宙飛行士の型に入れたコンクリートがなかなか固まらず苦労した。良いことは1年生は先に実習の経験ができたこと。当日は測量の体験ができるのでぜひ来てほしい」と話した。

情報技術科を知る

情報技術科の科展示のテーマは「情報の体験」。卒業生が課題研究発表で製作したものや旭工の情報技術科でしかできないもので、体験できる。

リーダーの小久保怜君 (3年) は「昨年よりも時間が限られていたため、役割分担を明確にして展示に間に合うようにした。昼休みに準備をしてくれた人がいて感謝している。情報技術科でできることやできるようなことを見てほしい。VRなどの知られていないものも情報技術科で学ぶことを知ってほしい」と話した。



情報技術科

VR体験のシミュレーションをする情報技術科

リーダーの小久保怜君 (3年) は「昨年よりも時間が限られていたため、役割分担を明確にして展示に間に合うようにした。昼休みに準備をしてくれた人がいて感謝している。情報技術科でできることやできるようなことを見てほしい。VRなどの知られていないものも情報技術科で学ぶことを知ってほしい」と話した。